バーチャルパワープラント(VPP)共通ソリューション(CURSUS-VPP)サービス提供のご紹介

HITACHI
Inspire the Next

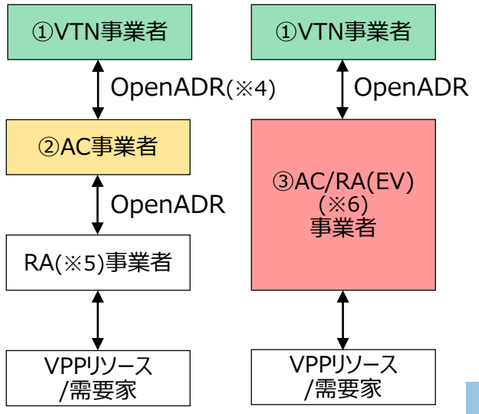
さまざまな実証/実業で培った業務ノウハウを生かしたサービスにより、VPP事業の立ち上げをご支援します

■CURSUS-VPP(※1)の特長

・CURSUS-VPPとは、バーチャルパワープラント(VPP)事業に活用可能な日立のソフトウェア製品群の総称で、VTN(※2)事業者やAC(※3)事業者などがVPP業務を行うための機能群を提供します。

・お客さまは新たな資産を持つことなく、VPP事業を開始することができます。

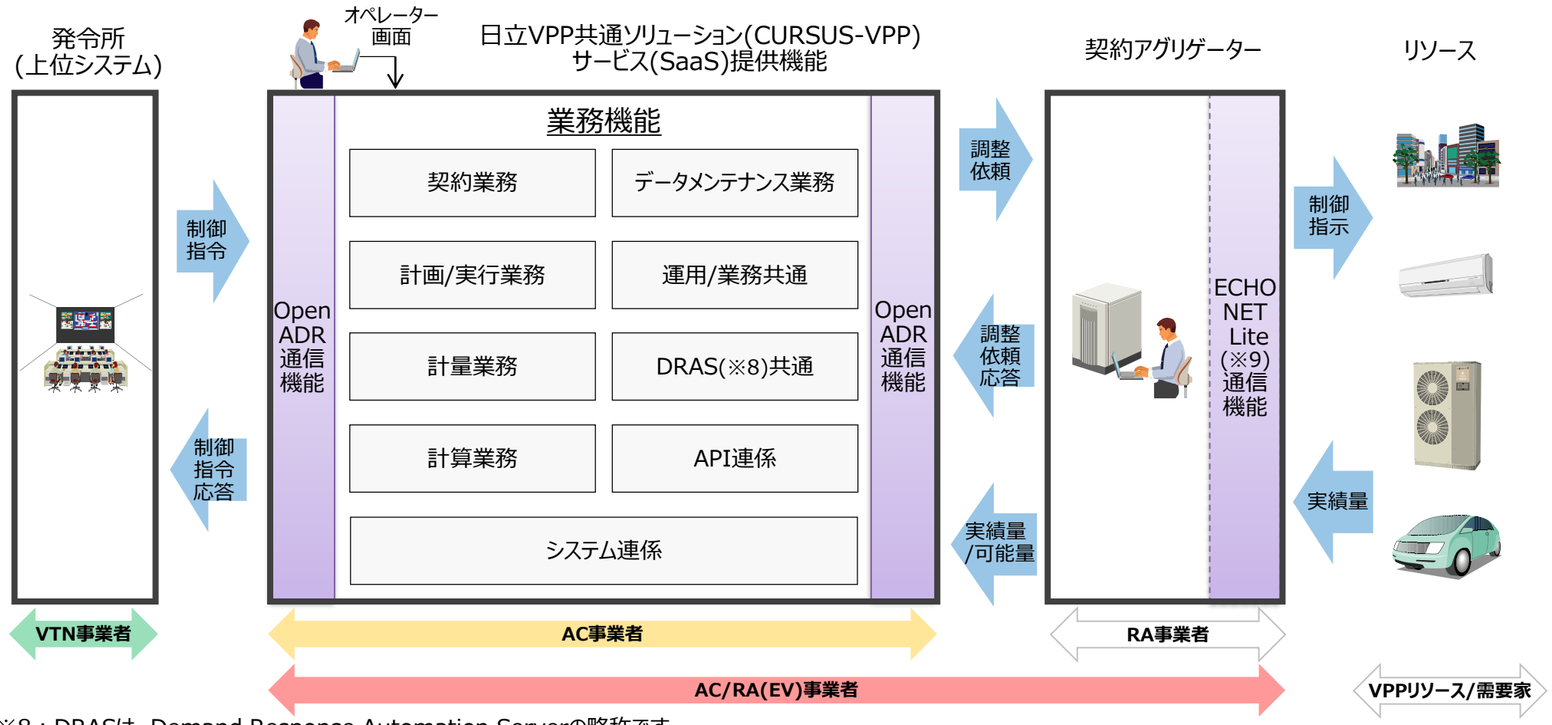
<運用例>



※1：CURSUSは、株式会社 日立製作所の日本における商標または登録商標です。
※2：VTNは、Virtual Top Nodeの略称です。
※3：ACは、アグリゲーションコーディネーターの略称です。
※4：OpenADRは、ADR(Automated Demand Response)のためのメッセージ交換プロトコルです。
※5：RAは、リソースアグリゲーターの略称です。
※6：AC/RA(EV)(※7)は、アグリゲーションコーディネーターとリソースアグリゲーターが一体となった事業者を表します。
※7：EVは、Electric Vehicleの略称です。

■サービス全体概要イメージ (本サービス利用者が「AC事業者」の場合を例として示します。)

CURSUS-VPPでは、OpenADR通信機能と、通信により授受されるデータを取り扱う業務機能の2つの機能を有します。



※8：DRASは、Demand Response Automation Serverの略称です。
※9：ECHONET Liteは、エネルギーマネジメントやリモートメンテナンスなどのサービスを実現するための通信仕様です。

■主な サービスメニュー

①VTNサービス(通常利用/テスト用)

・制御指令を発動するVTN事業者向けのサービスです。

・アグリゲータから収集するレポート報告値に基づき、制御結果の見える化機能(グラフ画面)を提供します。

・テスト用は、通信試験の実施に活用可能で、通常利用版よりも容易かつ安価にご利用頂けます。

提供時期：2019年10月を予定

②ACサービス

・VTN事業者からの制御指令を受信し、契約アグリゲーター(RA事業者など)向けに調整依頼(DR(※10)イベント)を配分／送信するAC事業者向けのサービスです。

・調整力電源I′(※11)事業への適用も見据え、簡易指令システムとの接続要件を満たす構成および機能も提供可能です。(オプションサービス)

・アグリゲーターから受信したレポート報告値の集計やグラフによるDRイベントの実績見える化機能もご利用いただけます。

※10：DRは、Demand Responseの略称です。
※11：電源Ⅰ′とは、系統運用者が事前に確保する調整力区分の一つです。

提供時期：未定

③AC/RA(EV)サービス

・指令値を受信し、指令値配分を実施した後、リソースに対して制御指示を行う、AC事業者とRA事業者が一体となった事業者向けの基本サービスです。

・ECHONET Lite通信変換機能を利用し、V2G(※12)サーバ(EV(※7)アグリゲーター)としてご利用頂くことも可能です。(オプションサービス)

※12：V2Gは、Vehicle to Gridの略称です。

提供時期：未定

本サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立製作所　社会システム事業部
URL：https://www.hitachi.co.jp/products/it/society/

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.